

おきしんでん

沖新田が面白い

岡山市を流れる旭川河口と吉井川河口の間に広がる干拓地が沖新田です。今から約300年前に岡山藩主・池田綱政の命によって、家臣の津田永忠によって作られました。

この絵図は、沖新田が完成したあとに描かれた実測図です。絵図の中を注意深くみると、水路や道路の様子、橋や水門の位置、町間境、神社、遊水池、島や地名などが記されています。ほかにも、さまざまな記号が見つかります。その意味を考えてみたり、学校や自宅周辺など身近な場所と比較してみると新しい発見が生まれることでしょう。

備前国上道郡沖新田図（※ T7-97）



赤枠部分の拡大図

参考資料

- 倉地克直 [ほか] 著 岡山県の歴史 (県史 33) 202-206p 山川出版社 2000.6
- 岡山大学附属図書館 開けゆく岡山平野 岡山藩の新田開発 (1) [池田家文庫等貴重資料展 2002]
- 岡山大学附属図書館 新田開発をめぐる争い 岡山藩の新田開発 (2) [池田家文庫等貴重資料展 2003]
- 西宮市立郷土資料館 西宮歴史大発見 [第19回特別展] 平成16年(2004)8月1日-11月28日
- 岡山市 The Lit City Museum www.city.okayama.okayama.jp/museum/

発行：岡山大学所蔵貴重資料デジタルコンテンツ作成委員会 連絡先：学術情報部情報管理課電子情報係
〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1 電話 086-251-7315 電子メール edc@lib.okayama-u.ac.jp
ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/edc/>

岡山大学・貴重資料活用のための
小・中学校先生向けパンフレット

1

www.lib.okayama-u.ac.jp/edc/
Issue of June 2005

いけだけぶんこえず 池田家文庫絵図

ってなあに？

現在の岡山県は、江戸時代には備前国・備中国・美作国の3つの国に分かれていました。県の南東部に位置する備前国と備中国の一部に領地を持っていたのが、岡山藩・池田家です。池田家は豊臣秀吉・徳川家康につかえて、関ヶ原の合戦で功績をあげ、全国有数の有力大名となりました。

岡山大学には、江戸時代初期から岡山藩で作られ伝えられてきた色鮮やかな絵図が数多く保存されています。和紙に染料・顔料を使って描かれた絵図を見ると、昔の人の繊細で巧みな描画を伺うことができるだけでなく、絵図に描かれている内容からは、江戸時代の地理・地誌・交通・技術・社会情勢など多くの事柄を読みとることができます。

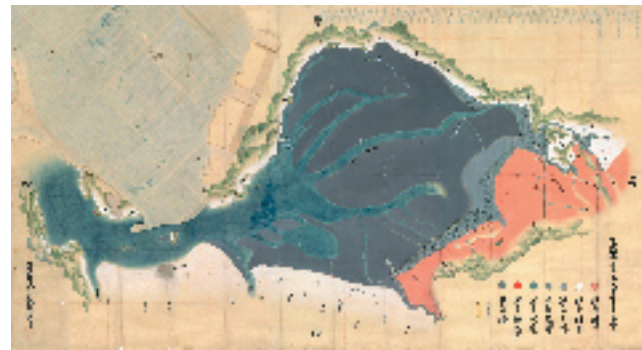
どんな絵図があるのかな？

岡山大学が所蔵する池田家文庫絵図の中には、岡山藩が幕府に提出した国絵図（山・河川・都市・街道や集落の位置・石高を示した地図）、郡や村の耕地・集落・水路を示した絵図、岡山城下や江戸の区画図、天守閣をはじめとする城内建物の建築図面、街道・航路の様子を示した図巻、備前・備中沿岸の干拓事業・岡山城石垣修理や後楽園（御後園）などの土木事業に関する絵図、合戦の様子を描いた図などがあります。

絵図から干拓をのぞいてみよう？

この絵図は、今から250年前に描かれた児島湾の絵図です。江戸時代中頃から、備前国と備中国の間で児島湾の干拓をめぐる、たびたび国境線について論争がありました。とりわけ寛延年間（1748～51）と宝暦年間（1751～64）には、大きな紛争となりました。これらは江戸幕府での裁判となって、裁定の結果、備中方領民（妹尾・箕島・早島）の干潟での漁業や葭草取りは認められましたが、両国の国境は当時の備中国新田の堤際となりました。その後、内海干潟に岡山藩によって興除新田が開かれます。

児島内海分間見取絵図（※ T8-71）



かぶせ紙をあげた様子。備中側の主張を示している。



かぶせ紙をおろした様子。備前側の主張を示している。

絵図のみかた

この絵図は、南を上にして見るようになっていました。現在の地図とちがって、絵図では北を上にして書くとは限りません。

これは、備前国・備中国の国境線をめぐる裁判のために書かれた絵図です。備前国の領地は白色、備中国の領地はとき色、内海は青色、児島湾南岸や妹尾・箕島・早島側など内海周辺に山々が描かれています。

この絵図は、かぶせ絵図という形のもので、かぶせ紙をあげた下の図は備中側の主張にもとづいて描かれ、かぶせ紙には備前側の主張が描かれています。双方の農民が立ち会い、幕府役人が見分して作られたものです。

肥沃で資源豊かな児島湾の干拓地は、領土争いの場でもありました。



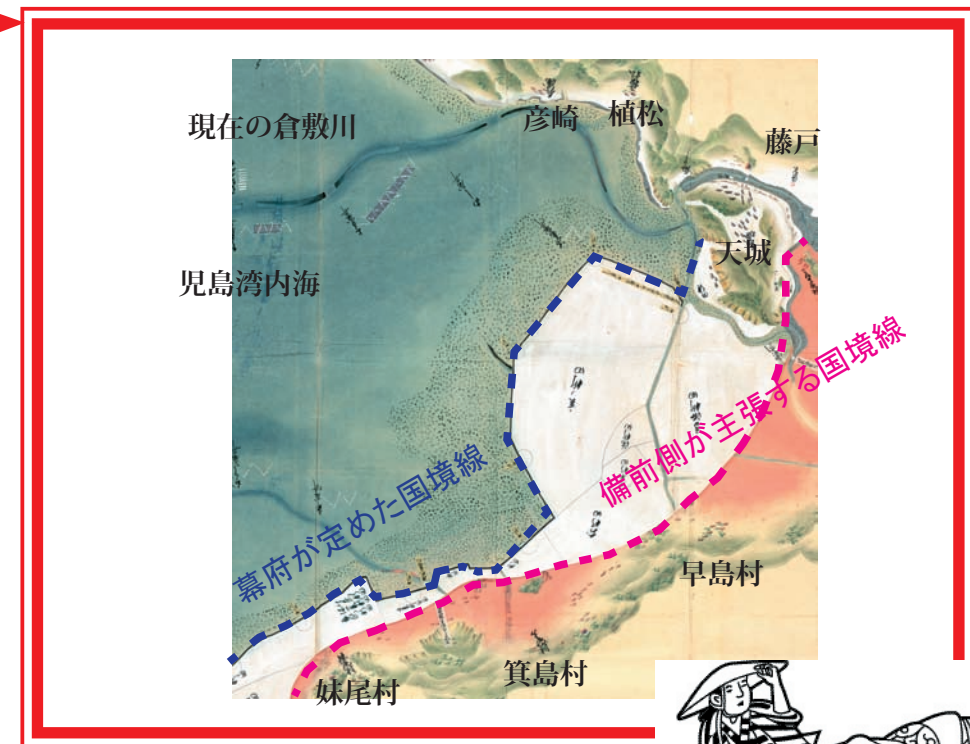
備前国側のいいぶん

幕府の命で作った国絵図を見てください。

備中側の新田は備前国児島・天城の地先の干潟に築いたものです。新田が開かれる以前の海岸線が本来の国境なのです。



拡大しよう。



備中国側のいいぶん

備中側が開いた新田はこれまで幕府にも認められてきたものです。国境は内海中央の漂筋です。



江戸幕府のはんけつ

現在の海岸線を国境として、これまでの干拓地は備中国のものとするが、内海は備前国の領地とする。

